

きれいな花が咲きますように 「人権の花」運動



植物の栽培を通して、命の大切さや相手への思いやる気持ちなどを身につけてもらおうと、古城小学校で4月28日、「人権の花」運動の伝達式が行われ、ヒマワリやコスモスなど、6種類の花の種が児童に手渡されました。

この取り組みは、阿蘇郡市などの市町村で構成する、阿蘇大津人権啓発活動地域ネットワーク協議会が人権啓発活動活性化事業として毎年実施されているものです。式の中で池部校長は「花にも優しさを込めて、大切に育てて欲しい」と児童に語りました。

なお、秋には、メッセージと花の種を付けた風船を飛ばす催しも行われる予定です。

馬とのふれあい提供 子ども400人が乗馬体験



阿蘇市青少年市民会議（安部武夫会長）は、5月3日～5日まで、内牧ファミリーパークあそ☆ビバで、乗馬の無料体験を実施しました。これは、阿蘇の象徴である馬に、地元に住みながらなかなかふれ合う機会がないので、馬の方から公園に出向いて乗馬ができる機会をつくったもので、3日間でなんと400人を超える子どもたちが乗馬を楽しみました。

初めて乗る子どもが多く、馬の優しさ、かっこよさを知り皆大喜びで、保護者からも感謝の声が多数聞かれました。

「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞 内牧花原川を守る会



△市長へ受賞報告を行いました。
右から湯浅さん、島津さん、小嶋さん。

内牧花原川を守る会（小嶋維男会長）は、花原川付近の美化・緑化活動において顕著な功績があったとして、「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞されました。

本会は、花原川流域の住民へ「郷土の自然と歴史を生かした古里づくり」を呼びかけ、平成7年1月に趣旨に賛同する72名（5団体）により発足し、年間を通して、花原川流域と周辺道路の清掃、除草作業や植栽などの美化・緑化に努められています。

また、花原川に生息する生物や飛来する野鳥の調査や説明板の設置、地域子ども会と一緒に外来植物の根絶のための啓発・撲滅活動に取り組むなど、自然保護に関する活動にも活発に取り組んでいます。

阿蘇市人権・同和教育推進協議会総会



5月17日、平成23年度阿蘇市・同和教育推進協議会総会が阿蘇いこいの村で行われ、関係者約200名が参加し、昨年度の事業及び決算、本年度の事業計画などが承認されました。

同協議会は、行政、企業関係、学校関係者など118団体で構成されており、同和教育問題をはじめとするあらゆる差別の解決、人権意識の普及高揚、教育・啓発活動の推進を図るために設置されています。

総会後には、研修会として、啓発映画『人権のヒント 地域編』が上映されました。